

報道関係各位

平成29年2月3日

400年を超える高岡市の鋳物技術と600年を超える南砺市の彫刻技術を活用した地場産業活性化モデルの構築・展開事業推進協議会

伝統技術と最新科学技術で門外不出の法隆寺の仏像を再現

3月に富山県高岡市にて初お披露目

「法隆寺 再現 釈迦三尊像展 一飛鳥が告げる未来」

記者会見のご案内

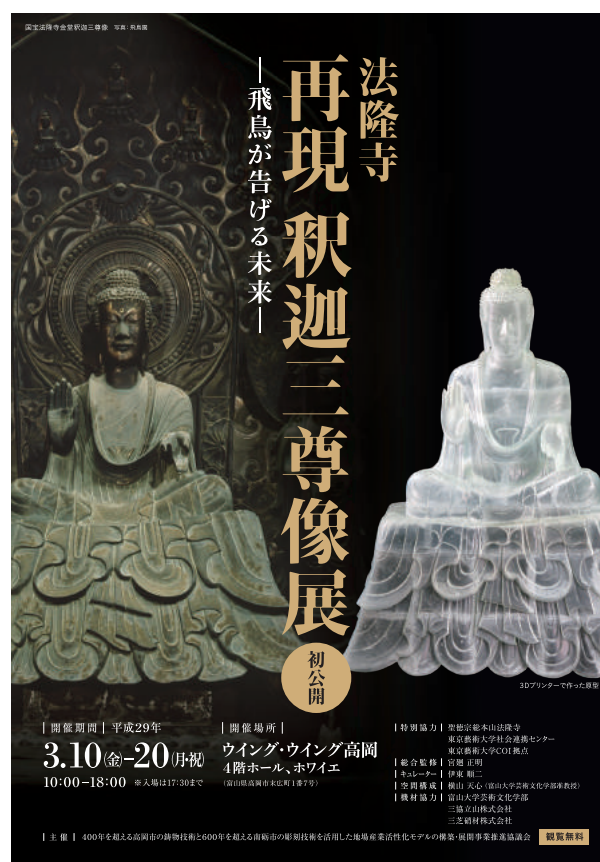
2月16日（木）17:00～ 於：東京藝術大学 Arts&Science LAB.（東京・上野）

富山県高岡市、南砺市および東京藝術大学は平成27年度から、産学官連携で国宝 法隆寺釈迦三尊像（以下、「釈迦三尊像」）の再現に取り組んでいます。

今回、門外不出の釈迦三尊像を限りなく科学的に同質なもので複製することにより、日本の芸術文化、地域の伝統技術の継承や、歴史的美術工芸品の未来の復元技術の発進につなげていきます。

この完成した再現仏を、富山県高岡市で開く展覧会「法隆寺 再現 釈迦三尊像展 一飛鳥が告げる未来」〔3月10日（金）～20日（月・祝）〕にて初公開するのに先立ち、2月16日（木）17時より、東京・上野の東京藝術大学にて記者会見を行います。

当日は、東京藝術大学での仕上げ工程もご覧いただけます。ぜひご取材をご検討くださいますよう、お願いいたします。



◎記者会見にご出席いただける場合は、p3の出席返信用紙にて

2月14日（火）18時までにFAXまたはメールでご連絡ください。

【「法隆寺 再現 釈迦三尊像展 一飛鳥が告げる未来」記者会見概要】※記者会見詳

◎日時：平成29年2月16日（木）17:00～18:10（受付開始 16:30）

（終了後、完成に向け制作している釈迦三尊像の再現物を報道関係の皆様へ公開）

◎場所：東京藝術大学 Arts & Science LAB. 4階 球形ホール（東京都台東区上野公園12-8）

<本件に関する報道関係の方のお問合せ先>

- ・当協議会事務局（高岡市役所 産業企画課内）担当：秋元 Tel 0766-20-1394
- ・（有）エピファニーワークス〔広報担当〕担当：荻布（おぎの）Tel 090-2838-0098、FAX 0766-54-6210、

E-mail yuko@epiphanyworks.net

※ご取材のお申し込みは、（有）エピファニーワークス荻布宛にお願いします。

【記者会見スケジュール】

17:00	開会
17:02	協議会会長挨拶（高岡市長 高橋 正樹）
17:05	釈迦三尊像の再現について （東京藝術大学 大学院教授 宮廻正明）
17:10	展覧会「法隆寺 再現 釈迦三尊像展-飛鳥が告げる未来-」について、本展キュレーター（東京藝術大学特任教授 伊東順二）より概要説明
17:20	ミニコンサート（新しい雅楽の試み）
17:30	映像放映 （国宝仏の再現に挑む 法隆寺釈迦三尊像と高岡・井波の職人たちダイジェスト版）
17:47	質疑応答～閉会（18:10ごろ）



→この後、階を移動し釈迦三尊像の再現物（作業中）を報道関係の皆様にご公開します。

【記者会見での登壇者（敬称略・五十音順）】

伊東順二（東京藝術大学社会連携センター特任教授・高岡市魅力発信アドバイザー）
 岩崎孝進（井波彫刻協同組合理事長）
 梶原壽治（伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事長）
 高橋正樹（高岡市長）
 深井 隆（東京藝術大学 美術学部 彫刻科教授）
 宮廻正明（東京藝術大学大学院教授・学長特命・社会連携センター長）
 米田 聡（南砺市ブランド戦略部長）



※画像
 （上）高岡銅器の伝統技術による鑄造直後の中尊と大光背
 （左下）東京藝術大学が計測した3Dデータから制作した中尊の樹脂製の原型
 （右下）井波彫刻の伝統技術による制作直後の宣字座

【展覧会「法隆寺 再現 釈迦三尊像展 -飛鳥が告げる未来-」について】

再現された釈迦三尊像と台座、金堂壁画（東京藝術大学で再現制作）を法隆寺の金堂に近い配置で展示するほか、3Dプリンターで制作された原型、鑄造工程で使用された石膏型なども展示。
 実際の法隆寺では金網越しの拝観となり、像の後方を見ることができませんが、この展示では釈迦三尊像の再現物を2mの距離で拝むことができ、像の裏側の銘などを見ることができる、貴重な機会となります。

◎日時・料金：平成29年3月10日（金）～20日（月・祝）10:00～18:00（入場は17:30まで）、観覧無料

*会期中の土曜（11日・18日）、ギャラリートーク（要事前申し込み）・職人による実演を実施

◎場所：ウイング・ウイング高岡 4階ホール、ホワイエ（富山県高岡市末広町1番7号）

◎主催：400年を超える高岡市の鑄物技術と600年を超える南砺市の彫刻技術を活用した地場産業活性化モデルの構築・展開事業推進協議会

◎特別協力：聖徳宗総本山法隆寺、東京藝術大学社会連携センター、東京藝術大学COI拠点

◎一般の方のお問合せ：上記協議会 事務局（高岡市産業企画課内）

TEL0766-20-1395 FAX0766-20-1287 Email:sangyo@city.takaoka.lg.jp

*オープニングイベント（3/9）では、内覧会・雅楽演奏のほか、当事業の関係者や建築家・隈研吾氏によるトークイベント、期間中には再現に携わった職人によるギャラリートークも予定しています。

【制作に関わった東京藝術大学・高岡市（高岡銅器）・南砺市（井波彫刻）について】

本事業は、産学官が連携し、学術的な最新研究成果と、長い年月で培われた職人の経験と感性が相互に補い合い、より高いレベルでの歴史的資産の再現につながったものです。

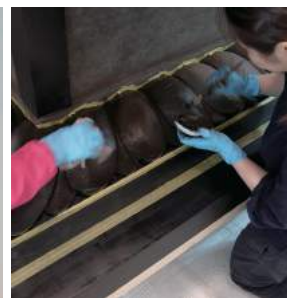
東京藝術大学が特別許可を得て取得した釈迦三尊像の高精細な3Dデータにより3Dプリンターで原型を作成。これを用いて高岡市および南砺市の伝統技術（鋳物、彫刻）を活用して再現制作を行い、東京藝術大学にて最終仕上げを行っています。

東京藝術大学； 計測・解析、原型作成、仕上げ

東京藝術大学は、創立以来130年間、優れた芸術家や教育者、研究者を輩出するとともに、文化財の保護と継承にも努めてきました。2010年には、模写や模刻の伝統技術に現代のデジタル技術を融合させ、高精度かつ同素材同質感で文化財を複製・再現する技術を開発。同学COI拠点では、芸術と科学技術を統合した高精度な文化財の複製を制作し、流出または消失した世界中の文化財の復元を目指しています。



データ造形



宣字座に漆を塗り、傷なども再現

高岡市（高岡銅器）； 銅像の鋳造

約400年前、高岡を開町した加賀藩二代藩主・前田利長公が、7人の鋳物師を呼び寄せたことに始まり、当初は鉄が中心でしたが、江戸中期より銅が用いられ、美術品や仏具、茶釜などの生産が盛んになりました。高岡の鋳物技術は、世界遺産に登録されているスペイン・バルセロナにあるグエル邸の「龍の門」の鐘の復元に用いられるなど、歴史的記念碑や工芸品の修復・再現に期待されています。



脇侍の型に銅合金を注湯



原型から起こした中尊の口ウ型

南砺市（井波彫刻）； 台座の木工・木彫

瑞泉寺の門前町として栄えた井波。大火で焼失した瑞泉寺再建のために京都より彫刻師が招かれ、その技術を継いだ宮大工が今日の井波彫刻の礎を築きました。彫刻師たちは手に合うノミを自ら作り、工程ごとに200本余りを使い分けます。その技術は欄間のほか各種インテリアや工芸品に生かされています。歴史的な木彫品の修復・復元等にもその技術が用いられ、現在名古屋城本丸御殿再建事業で、欄間7枚の再現に取り組んでいます。



框部分の制作



反花を彫刻

展覧会「法隆寺 再現 釈迦三尊像展 一飛鳥が告げる未来」 記者会見

◆日時：平成29年2月16日（木）17:00～（受付開始 16:30）

◆場所：東京藝術大学 Arts & Science LAB. 4階球形ホール（東京都台東区上野公園12-8）

出席返信用紙

宛先：広報担当（有）エピファニーワークス 荻布 行
 （FAX：0766-54-6210、E-mail：yuko@epiphanyworks.net）

貴社媒体名

貴社名

御芳名

他

名

ご連絡先 TEL

FAX

撮影希望 有（スチール / テレビカメラ〔 台 〕） ・ 無

備考

※お手数をおかけしますが、平成29年2月14日（火）18時までにファックスまたはメールにてご送付ください。

※撮影場所は、ムービーカメラ、スチールカメラともに、先着にてご案内いたします。

※駐車場はございませんので、公共交通機関を御利用ください。

【東京藝術大学 構内案内図】



◎本件に関する報道関係の方のお問合せ先

・当協議会事務局（高岡市役所 産業企画課内）担当：秋元 Tel 0766-20-1394

・（有）エピファニーワークス〔広報担当〕担当：荻布（おぎの）

Tel 090-2838-0098、FAX 0766-54-6210、E-mail yuko@epiphanyworks.net

※ご取材のお申し込みは、（有）エピファニーワークス荻布宛にお願いします。